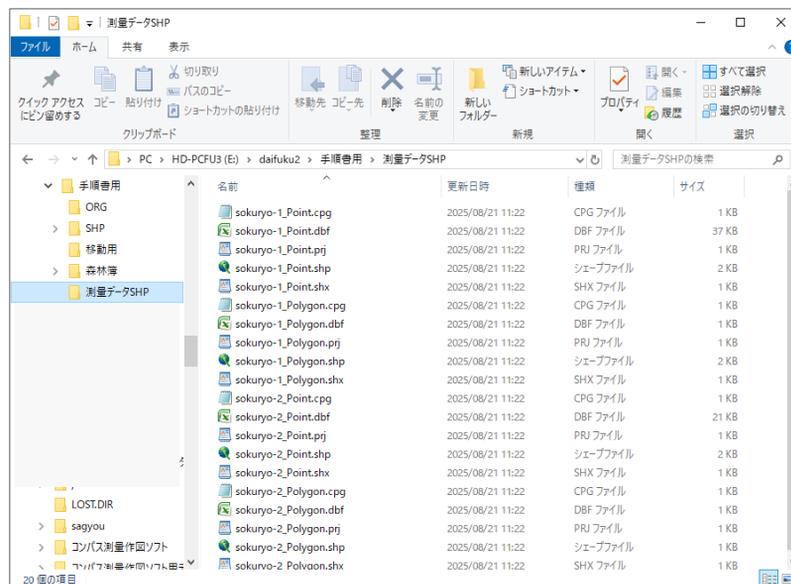


シェイプファイル(測量データ)の読み込み

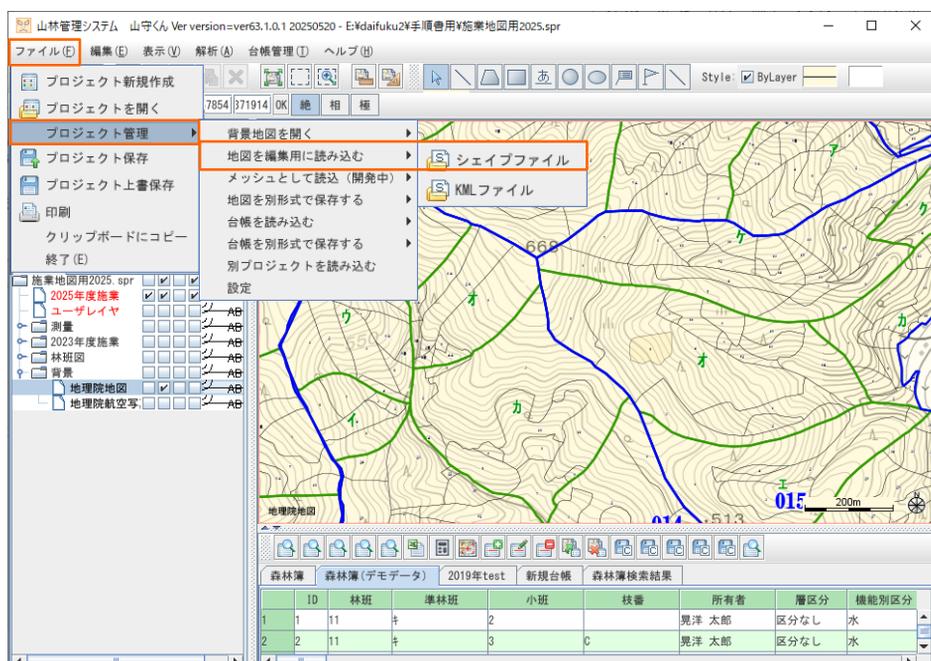
山守コンパスや山守GPSで測量したデータを作図ソフトへ読み込み、その作図ソフトから出力したシェイプ(SHP)ファイルを山守くんLiteへ読み込み、表示します。

- 1 出力したシェイプ(SHP)ファイルを管理しやすいフォルダを作成し、格納します。

例: [測量データSHP]フォルダへ出力したシェイプ(SHP)ファイルを格納します。拡張子が違う5ファイルで1データのため全ファイルを格納します。



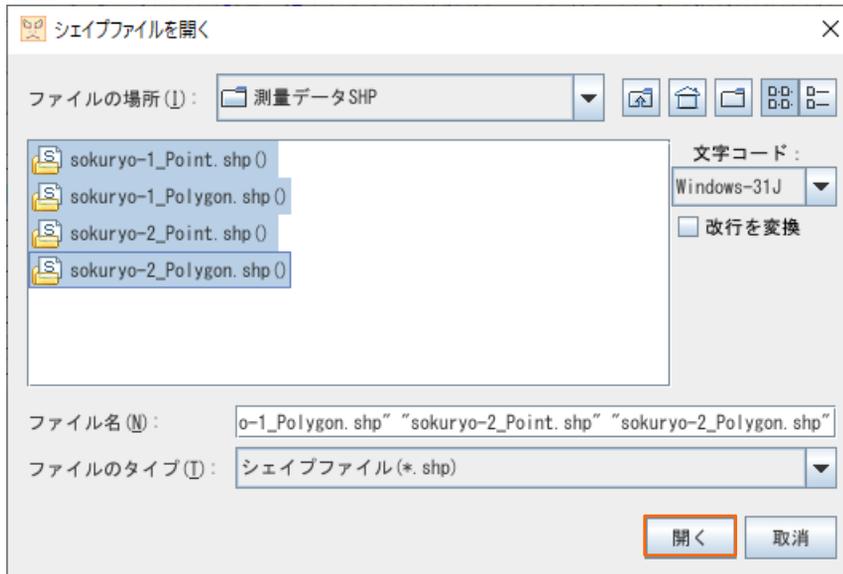
- 2 メニューバーの[ファイル]-[プロジェクト管理]-[地図を編集用に読み込む]-[シェイプファイル]をクリックします。



3 読み込むシェイプファイルを選択し、[開く]をクリックします。

※シフトを押してマウスクリックで、複数のシェイプファイルの選択が可能です。

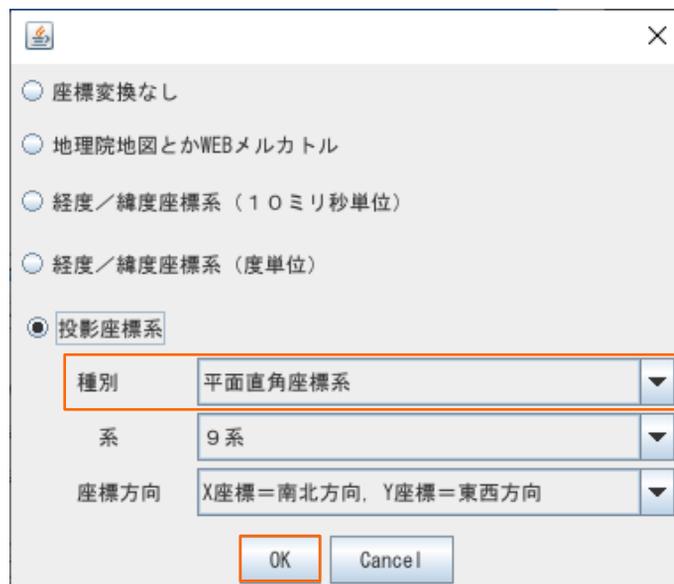
例： sokuryo-1／sokuryo-2のポイントとポリゴンのシェイプファイルを読み込むため、選択します。



4 読み込むシェイプファイルの座標系を選択し、[OK]をクリックします。

例： 平面直角座標系[9系] を選択します。

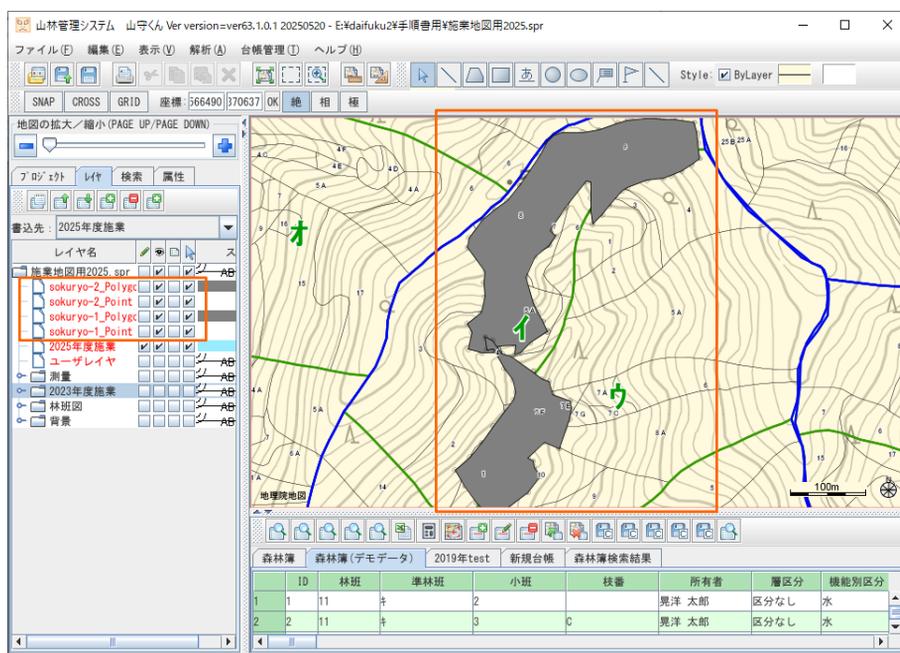
山守コンパス、山守GPSで測量した際の座標系を選択します。基本は[平面直角座標系]です。



5 読み込んだシェイプファイルを確認します。

シェイプファイルごとにレイヤが作成され、地図上に表示されます。

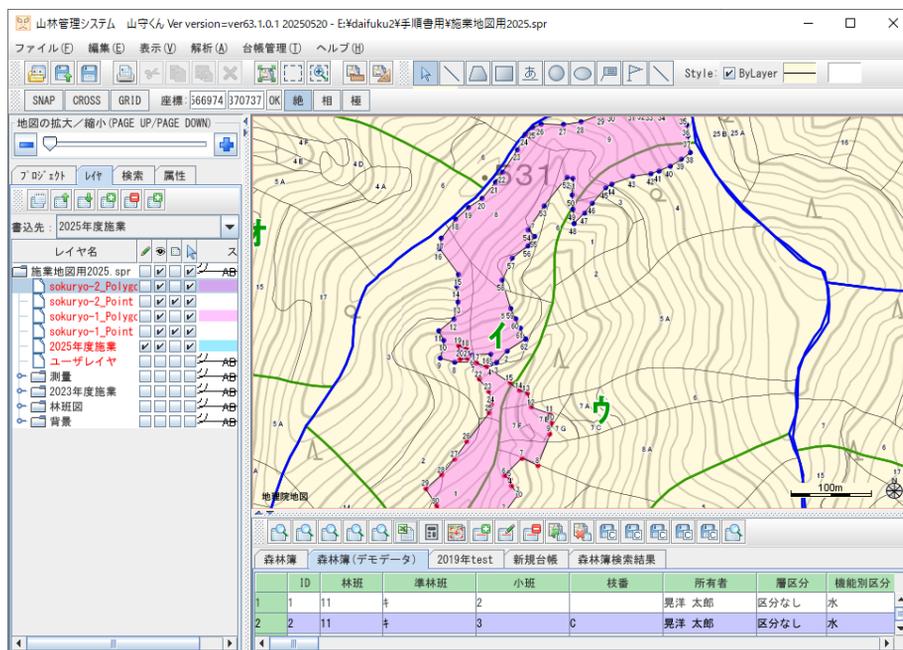
例： sokuryo-1 / sokuryo-2のポイントとポリゴンのレイヤが追加され、地図上に表示されました。



6 レイヤごとに図形の表示を変更します。

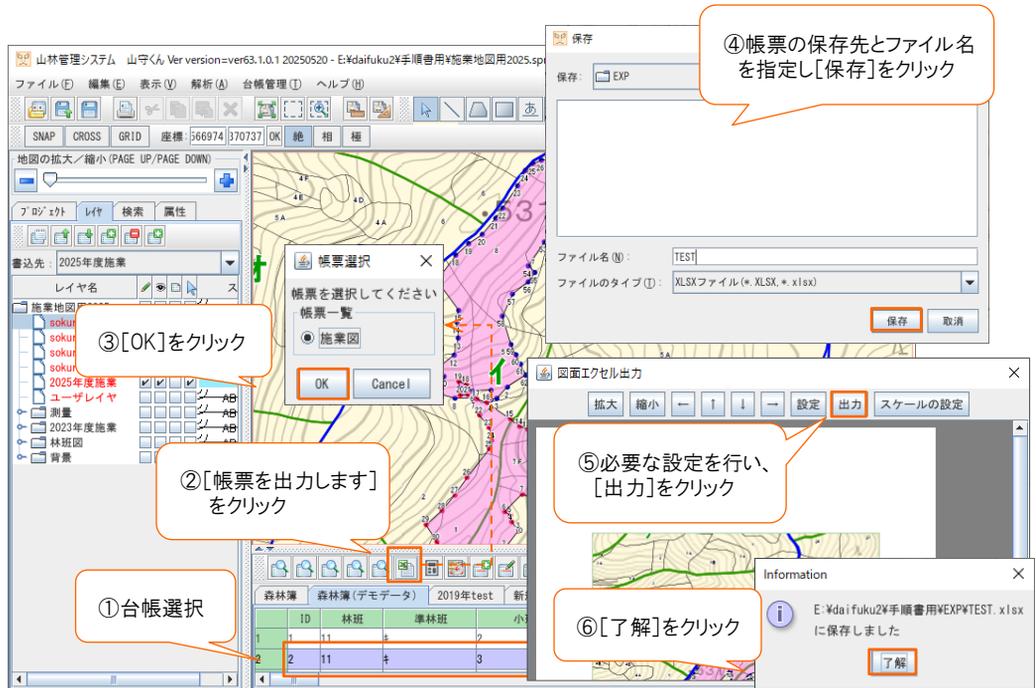
詳細は、【Q 新しくレイヤを追加しました。図形の色を変更したいです。】をご参照ください。

例：ポリゴンを透過したピンク色にし、ポイントは赤色 / 青色にして、測点をラベル表示しました。



7 地図に表示した測量結果を、施業図としてExcelファイルで出力します。

詳細は、【Q 施業図をExcelで出力できますか?】をご参照ください。



8 7 ③で指定した保存先に施業図としてExcelファイルが出力されたことを確認します。

